※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１２

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・漢字５書体、仮名の様々な作品を臨書(古典作品を真似して書くこと)し、その作品が書かれた背景を学び、筆者の心情などを追体験します。
・篆刻を学び、書作品についての幅を広げます。
・用具用材の違いによる表現の違い等を学び、自分らしい文字の表現ができるようになることをめざし、漢字仮名交じりの書について理解を深めます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	A:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して、理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付けている。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の診を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書写と書道（書体の変遷）	・国語科書写と芸術科書道 ・正式書体、略式書体「天」の字を使った書体の変遷 ・さまざまな書体を使って書として表現されたものに興味を持つ	a: 姿勢や執筆法の基本を身につけ理解している b: 国語科書写での基礎・基本を踏まえ、表現を工夫している c: 主体的に書写と書道の類似点・相違点、正式書体・略式書体について興味を持ち、今後の学習活動に取り組もうとしている	書写の様子 作品	書写の様子 作品	学習活動の様子 書写の様子 作品

※令和４年度以降入学生用

	漢字の書	・五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の学習 ・楷書の古典の臨書 ・行書の古典の臨書 ・相互鑑賞会	a: 古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けている b:古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している c: 主体的に五書体(楷書・行書・草書・隷書・篆書)の美とその表現方法について感心を持ち、表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	臨書の様子 作品	臨書の様子 作品 鑑賞活動の様子	学習活動の様子 臨書の様子 作品 鑑賞活動の様子 ノート
2学期	篆刻	・自分の名前調べ(篆書体) ・名前印の制作	a: 印稿づくりにおいて、篆書の特徴を理解している b: 篆刻における文間布白(ぶんかんふはく)を理解し、表現を工夫している c: 主体的に名前の篆書体を調べ、篆書体の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている	制作の様子 制作途中の作品 作品	ワークシート 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子
	漢字仮名交じりの書	・手紙作成 ・うちわ作成 ・カレンダー作成	a: 漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身に付けている b: 目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想しを工夫している c: 主体的に文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	制作の様子 制作途中の作品 作品	ワークシート 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子	ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞活動の様子
3学期	仮名の書	・仮名の古典の臨書	a: 基礎的・基本的な連綿と単体、散らし書きの技能を身に付けている b:古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に仮名の美(連綿、散らし書きなど)について関心を持ち、表現や学習活動に取り組もうとしている	臨書の様子 作品	臨書の様子 作品 鑑賞活動の様子	学習活動の様子 臨書の様子 作品 鑑賞活動の様子 ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度